

評価対象事業一覧(令和6年度当初予算)

委員会	会計	事業名称	所属名称	過去の評価 対象事業	抽出会派
建設消防	一般	雨水浸透・貯留施設設置助成費	河川課	H25	リスペクトふじ
	一般	放置自転車対策事業費	道路維持課		知行合一
	一般	雨水浸透・貯留施設設置助成費	河川課	H25	民主ふじ
	一般	雨水浸透・貯留施設設置助成費	河川課	H25	草の根ふじ
	一般	駐輪場維持管理事業費	道路維持課		(無会派)ミラクル富士
	一般	一般管理費(用水委員)	河川課		心政富士

令和6年度決算 議会評価対象事業

委員名 小池 智明

【一般会計】

款	項	目	評 価 対 象 事 業 名
8	3	1	004_001 雨水浸透・貯留施設設置助成費
(選定理由) 近年、台風や集中豪雨による水害が頻発している中、富士市では河川整備と並行して河川への雨水流出量を抑制するため、平成7年度に開始した雨水浸透・貯留施設設置促進事業(敷地面積1,000㎡未満の居住用住宅所有者が、住宅の屋根に降った雨水を、雨どいを通じて地中に浸透させる雨水浸透マス等を設置する際の補助金交付)等により官民一体となった治水対策を推進している。 市内の総住宅数約110,000戸(年間新築数は1,000～1,500戸)に対し、開発行為(敷地面積1,000㎡以上)の義務付けにより雨水浸透マスが設置された約12,000戸を除く約98,000戸が設置促進事業の対象となるが、これまでの累計実績は1,618件(戸)に留まっている。 この差、約96,000戸への雨水浸透マス設置促進が重要と考える中、これまでの設置促進事業を評価した上で、当事業の今後のあり方、またそれ以外の手法(条例により敷地規模に関わらず雨水浸透マス設置を義務化等)について検討、提案すべきと考え評価対象事業に選定したい。			

【 会計】

款	項	目	評 価 対 象 事 業 名
(選定理由)			

令和6年度決算 議会評価対象事業

委員名 鈴木 幸司

【一般会計】

款	項	目	評 価 対 象 事 業 名
8	2	2	004_007 放置自転車対策事業費
(選定理由)			
本市では従来より良好な道路環境を維持することを目的に、放置自転車撤去・保管・返還事業を行っているが、近年増加しているロードレーサーやランドナー、小口径車などは、粗大ごみとして売却するよりも、分解し、使える部品を組み合わせ再生したのちネット等で売却したほうが利益が出るが多い。SDGsの観点からも、現在放置自転車がどのように処分されているか検証する必要がある。			

【 会計】

款	項	目	評 価 対 象 事 業 名
(選定理由)			

令和6年度決算 議会評価対象事業

委員名 山下いづみ

【一般会計】

款	項	目	評 価 対 象 事 業 名
8	3	1	004_001 雨水浸透・貯留施設設置助成費
(選定理由)			
令和5年度の雨水浸透ます・貯水槽の設置は、市全体で27件にとどまっている。各地区で年間1つ程度の設置を続けても、実際に水害を減らす効果はほとんど見られないのではないかと。以前のように、上流地域などにモデル地区を定めて、重点的に広報するなどのテコ入れが必要ではないかと。また、貯水槽の方は、被災断水時の水確保の役に立つという観点もあるので、これに特化するのも一案と考える。検討の余地あり。			

【 会計】

款	項	目	評 価 対 象 事 業 名
(選定理由)			

令和6年度決算 議会評価対象事業

委員名 笠井 浩

【一般会計】

款	項	目	評 価 対 象 事 業 名
8	3	1	004_001 雨水浸透・貯留施設設置助成費
(選定理由) 近年の気候変動により、降雨量が増加し、市内いたるところで河川の溢水による道路冠水、住宅敷地内への流入、床下・床上浸水の被害が起こっている。この事業は各家庭で一時的に雨水を貯留、地下に浸透させ、浸水被害を食い止めるために、効果の期待できる事業であり、更なる啓発と、市民の理解が必要だと考える。			

【 会計】

款	項	目	評 価 対 象 事 業 名
(選定理由)			

令和6年度決算 議会評価対象事業

委員名 石川 浩司

【 会計】

款	項	目	評 価 対 象 事 業 名
			なし
(選定理由)			

【 会計】

款	項	目	評 価 対 象 事 業 名
(選定理由)			

令和6年度決算 議会評価対象事業

委員名 市川 真未

【 会計】

款	項	目	評 価 対 象 事 業 名
8	2	2	004_004 駐輪場維持管理事業費
(選定理由) サイクルツーリズムや自転車活用を推進している本市が、どのように駐車場の維持管理を行っているのか、自転車活用を推進するのならば駐輪場についても同様に検証すべきと考える。 自転車販売はコロナ過も追い風となり、2020年度には過去最高を更新した。その中でも特に電動アシスト自転車やスポーツ自転車が伸びており、1台当たりの必要スペースは広がっている。 それに加えて観光利用や車の返納後の自転車利用など、需要に合った駐輪場運営となっているのか検証する必要があると考え、選定する。 令和5年度決算額 3250万5518円			

【 会計】

款	項	目	評 価 対 象 事 業 名
(選定理由)			

令和6年度決算 議会評価対象事業

委員名 萩野 基行

【 会計】

款	項	目	評 価 対 象 事 業 名
			なし
(選定理由)			

【 会計】

款	項	目	評 価 対 象 事 業 名
(選定理由)			

令和6年度決算 議会評価対象事業

委員名 佐野 智昭

【 会計】

款	項	目	評 価 対 象 事 業 名
8	3	1	002_001 一般管理費(用水委員)
(選定理由) 用水委員は、上堀、富士早川、下堀、四ヶ郷用水に関わりのある地区（以下「当該地区」という）のみに設置されており、用水利用者及び水門管理人との水利の調整、大雨時の対応（堰の開閉等）、春堀事業における検分、河川占用申請業務の内容確認など、重責を担っている。 一方で、用水委員の選出方法は、町内会等から選出、部農会から選出、直接頼まれ選出など、地域によって異なっているほか、市からの委嘱ではなく、市との契約（依頼書の交付、承諾書の提出）によって成立し、自主的に役割を担い、活動を行っているなど、立場は曖昧である。また、費用としては、市河川課より、1人、年1回、1万円の報償費が支払われているに過ぎない。 さらには、当該地区は市街化区域であるため、用水利用者（水田）は減少の一途をたどっている一方で、宅地化の進行とともに水利の調整が難航するケースも見受けられる。 このようなことから、今後の成り手不足なども念頭に置いて、用水委員の在り方について再検討（廃止による新たな仕組みの構築、役割・責任・立場を明確化し拡充、大幅な見直し等）する時期にきていると考え、評価対象事業に選定するものである。			

【 会計】

款	項	目	評 価 対 象 事 業 名
(選定理由)			